2026年 | 月 | 0日(土)・ | 1日(日)

第14回日本理学療法教育学会 学術大会 @ 帝京平成大学池袋キャンパス

公募型ワークショップ08

学びの"個性"を活かす!

~自己調整学習で拓く、医療専門職の生涯学習~

上尾中央医療専門学校 理学療法学科 海老原賢人(Kento Ebihara, PT, Ph.D) e-mail:k_ebihara@acmc.ac.jp



公募型ワークショップ8の概要



■ 日時

01月11日(日)

10:00 ~ 11:30(90分間)

■ 会場
第4会場(4|2号室)

■ キーワード理学療法、教育、生涯教育、自己調整学習(方略)、理学療法士の自己調整学習方略尺度



理学療法士の教育

卒前教育

卒後教育

卒前教育の到達目標

ある程度の助言を受けながら、 基本的な理学療法を実施できる とともに、自ら学ぶ力を育てる (モデル・コア・カリキュラム、2019)

卒後教育の到達目標

自ら設定し、目標到達に向けて 学習を継続していく必要がある

自ら学ぶ力を、どのように育み、確認するか、 さらなる議論・検討・実施が求められる



自己調整学習方略

Barry Zimmerman (1942-)

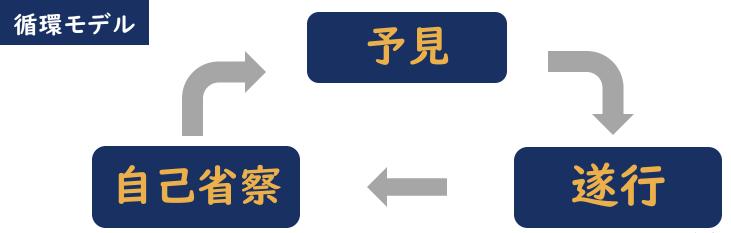
- 米国教育心理学者
- 1990年の米国心理学会で、自己調整学習の概念を確立

定義

学習者がメタ認知・動機・行動の観点から、学習プロセスに

能動的に参加する学習

(Barry, Zimmerman, 1990)



(Zimmerman、1990)



ワークショップの概要

■自己調整学習の理論的背景を学ぶ

- ー 自己調整学習(方略)とは
- 一 医療専門職教育の分野における、自己調整学習(方略)の位置付け

■グループワーク

- ー 自分の自己調整学習の"個性"を理解し共有する
- ー ケースをもとに、学習者の自己調整学習の"個性"を理解し共有する
- ー 明日から使える指導方法、教育のアイディアを考え、共有する

■期待される成果

- ー 自分の学習の"個性"を客観的に振り返り、アップデートできる!
- ー 学習者の学習の"個性"を理解することで、明日からの教育に活かせる!
- ー 参加者とのワーク・交流により、具体的アイデアを共有できる!



新人スタッフに、"どう学ぶか"伝えたいけど、方法がわからない・・・

自分自身の学習方法を、客観的に振り返りたい・・・

指導が一方通行になってしまう・・・

新人ごとに反応が違うから、どうやって指導したらいいかわからない・・・

中堅スタッフにも、もっと主体的に学習してほしいけど・・・

学習について指導する、指標がほしい・・・

教育や学習の"悩み"も"情熱"も、皆様の叡智として集約し、 新たな学びを、共に作っていきましょう! 皆様のご参加を、心よりお待ちしております!



参加を希望される方は、

第14回日本理学療法教育学会学術大会のHPより、

フォームに必要事項をご入力ください!

